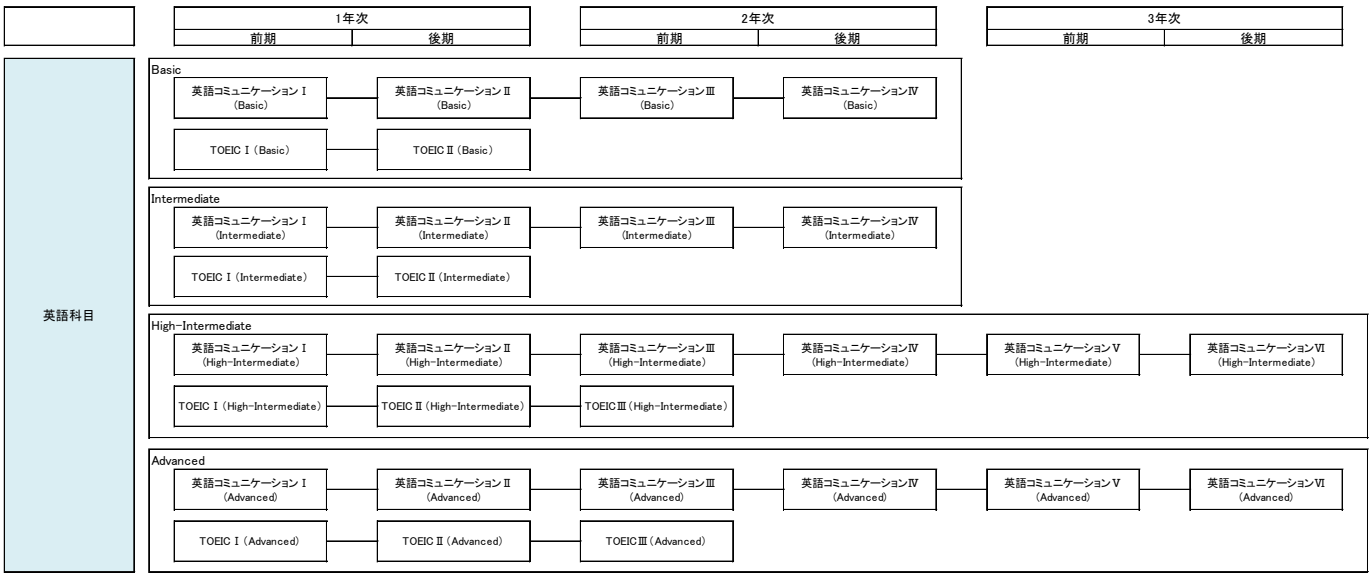
KEIT（Kyoritsu English Intensive Training）について

共立女子大学・共立女子短期大学では、2023年度より、「日常生活、職場等の社会生活において英語を活用したコミュニケーションをとることができる女性の育成を目的として、教養教育科目において英語教育プログラムを開設しています。

このプログラムは、英語コミュニケーションの授業に加えて、TOEIC対応の学習内容を授業に取り入れることによって、日常生活だけではなく、社会にでてからも必要となる総合的な英語運用能力の養成を目指します。

1．教養教育における英語科目について

教養教育における英語科目は「英語コミュニケーション」と「TOEIC」の二つの科目群から構成されています。詳細は下記に示すとおりです。



上記科目のうち、「英語コミュニケーションⅠ」および「英語コミュニケーションⅡ」は全学部・科において必修科目として指定されているため、全ての学生が単位を修得する必要があります。

「英語コミュニケーションⅢ」～「英語コミュニケーションⅥ」および「TOEIC」はKEIT参加者のみ履修することができる科目として設定されています。

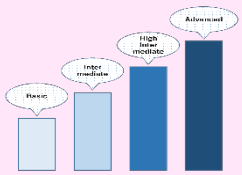
また、本学では教養教育科目および専門教育科目における習熟度に応じたクラス編成を行うために、全入学生を対象としてTOEIC L&R IPテスト（オンライン版）を活用したプレイスメントテストを入学前に実施しています。

2．KEITについて

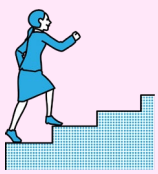
KEITには、大きく分けて次の三つの特徴があります。

プログラム名称：Kyoritsu English Intensive Training（略称：KEIT ＜ケイト＞）

1
習熟度別のクラス編成



2
体系的なプログラム



3
TOEICに対応した科目

1．習熟度別のクラス編成
　本学の教養教育の英語科目に共通する事項ですが、入学前のプレイスメントテストの結果によって、習熟度別の４つのレベルのクラスに編成されます。また、レベルごとに到達目標を設定した科目を設置し、
学生はレベルに応じた科目を学ぶことができます。

クラスレベル	目安・目指すレベル
Advanced	海外赴任や英語での会議ができることを目指す
High-Intermediate	海外部門で働くことができることを目指す
Intermediate	上場企業の一般社員に求めるレベルを目指す
Basic	企業が新入社員に期待するレベルを目指す

2．体系的なプログラム
　KEITに参加することで、レベルによって2年間～3年間教養教育における英語科目を学ぶことが可能になります。継続的に学び続けることで、確実に英語運用能力の向上を目指せるプログラムとなっています。

3．TOEICに対応した科目
　KEIT最大の特徴は、KEIT参加者のみを対象としてTOEICに対応した科目を設置していることです。KEITに参加し、TOEICに対応した科目を学ぶことで、在学中だけではなく、卒業後も役に立つ実践的な英語運用能力を養うことができます。

3．KEITへの参加方法について

　KEITへの参加方法は入学する予定の学部・科によって異なります。下記を参照してください。
　なお、1年次途中からは参加ができないため、参加を希望する方は必ず入学前アンケートに回答してください。

・家政学部、看護学部、建築・デザイン学部、生活科学科、文科
　→入学前に「＃春から共立必読サイト」のKEIT動画視聴サイトのアンケートより参加希望者は申し込んでください。

・文芸学部、国際学部
　→入学前に「＃春から共立必読サイト」の各学部独自の連絡にある動画視聴サイトのアンケートで学びたい外国語を「英語」と選択してください。

・ビジネス学部
　→「TOEIC Ⅰ」「TOEIC Ⅱ」が必修科目となっているため、新入生は全員参加します。アンケートへの回答は不要です。

※上記以外にも、進級時の参加希望アンケートに回答することでも参加できますが、レベルによっては複数年に渡って履修が必要となるため、**初年次からの参加を推奨しています**。

4．KEIT科目の履修登録について

　入学前アンケートで参加希望をした方を対象に、前期「英語コミュニケーションⅠ」「TOEIC Ⅰ」、後期「英語コミュニケーションⅡ」は教務課にて一括で登録を行います。後期「TOEIC Ⅱ」※および2年次以降に開講される科目は各自の履修計画に応じてご自身で登録してください。
　※ビジネス学部では「TOEIC Ⅱ」は必修科目として指定されているため、教務課にて登録を行います。

5．その他

・KEITへの参加はビジネス学部以外では自身の希望によって選択できます。ただし、文芸学部の選択必修外国語や国際学部の専修外国語で英語を選びたい場合は、KEITへの参加が条件になります。
　ご自身で何を学びたいかを考えたうえで参加をするようにしてください。

・KEITを修了するためには原則としてすべての科目を履修（修得）することが必要です。ただし、登録された科目の履修中止なども可能となっています。履修中止については、別途ご案内いたします。

以上